

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【公表番号】特表2012-504827(P2012-504827A)

【公表日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2011-530226(P2011-530226)

【国際特許分類】

G 06 Q 30/02 (2012.01)

【F I】

G 06 F 17/60 170 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 入力されたシーンを受信し、

(b) 視覚的注意モデルを前記入力されたシーンに適用し、

(c) 前記入力されたシーン内の、視覚的注意を引き付ける傾向がある領域を予測するように機能する視覚的注意モジュールと、
前記視覚的注意モジュールと相互作用して、識別された領域の少なくとも1つが堅牢である、又は前記シーンが堅牢である、という程度を決定するように機能する堅牢性評価モジュールと、を含み、

堅牢性が、前記視覚的注意モデルから、

(a) 前記シーンの視覚的特性内の変動、又は

(b) 前記視覚的注意モジュールによって適用される前記視覚的注意モデル内の変動、
のうちのいずれか、若しくはこれらのいくつかの組み合わせへ出力された予測の感度の尺度である、コンピュータシステム。

【請求項2】

入力されたシーンを受信することと、

視覚的注意モデルを前記入力されたシーンに適用して、前記入力されたシーン内の視覚的注意を引き付ける傾向がある領域を予測することと、

修正されたシーンを生成するように、前記シーンを修正することと、

前記視覚的注意モデルを前記修正され、入力されたシーンに適用して、前記入力されたシーン内の視覚的注意を引き付ける傾向がある領域を予測することと、

前記視覚的注意モデルの、前記入力されたシーン及び前記修正されたシーンへの適用から識別された領域に基づいて、前記識別された領域又は前記入力されたシーンのうちの1つが堅牢である、という程度を測定することと、を含み、

堅牢が、視覚的注意モデルから、前記シーン内の前記視覚的特性内の変動までの予測の低感度の尺度である、コンピュータ実行型の方法。

【請求項3】

入力されたシーンを受信することと、

視覚的注意モデルを前記入力されたシーンに適用して、前記入力されたシーン内の視覚的注意を引き付ける傾向がある領域を予測することと、

修正された視覚的注意モデルを生成するように、前記視覚的注意モデルを変更することと、

前記修正された視覚的注意モデルを前記入力されたシーンに適用して、前記入力されたシーン内の視覚的注意を引き付ける傾向がある領域を予測することと、

前記視覚的注意モデル及び前記修正された視覚的注意モデルの、前記入力されたシーンへの適用から識別された領域に基づいて、前記識別された領域又は前記入力されたシーンのうちの1つが堅牢である、という程度を測定することと、を含み、

堅牢が、視覚的注意モデルから、前記シーン内の前記視覚的特性内の変動までの予測の低感度の尺度である、コンピュータ実行型の方法。